

ACG032-16

会場:105

時間:5月27日 12:30-12:45

革新プログラムによる温暖化予測結果のデータ公開システム Data distribution system for global warming projection under Kakushin Program

河宮 未知生^{1*}

Michio Kawamiya^{1*}

¹ 海洋研究開発機構

¹JAMSTEC

「21世紀気候変動予測革新プログラム」では、2010年度中にCMIP5プロトコルにある実験の大部分を終えるペースで計算を進めている。これまで、北太平洋の数十年規模変動の予測可能性や、土地利用変化が全球規模炭素循環に与える影響、赤道準二年振動の温暖化による変化、北極域における海洋酸性化の進行などについて、興味深い結果が得られている。また現在、実験と並行して、終了した実験データをCMIP5指定のデータ形式に変換し、「データ統合解析システム(DIAS)」へ転送する作業を進めている。

温暖化の影響評価を行う研究者など、データの利用者にとって使いやすいサーバになるよう、DIAS関係者と革新プログラム関係者とで連絡を密に取り作業を進めている。また影響評価の研究者とは、「気候シナリオ利用タスクグループ」の枠組みのもと情報交換を行っている。2011年1月現在では、申請ベースでデータの受け渡しが可能になっているが、2011年度の早いうちにはDIASから主だったデータがダウンロードできるようになることを目標にしている。またDIASによるシステムが国際的な温暖化予測データの配布システムEarth System Grid(ESG)のGatewayとしても機能できるよう、関係者との調整を図っている。

キーワード: 地球温暖化, アースシステムグリッド, 影響評価, 数値シミュレーション, データ統合解析システム
Keywords: global warming, earth system grid, impact assessment, numerical simulation, DIAS